

- ・コラム「ここの指針」
- ・お知らせ（講演、見学、つめ放題セール、冬期休業）
- ・宿泊研修報告 2009
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2009年12月 135号

—「ここの指針」—

杉浦 良

来年の年賀状の言葉をどうするか？出来ばえの割には、いつも悩むことの多い年中行事です。次の年をどう位置づけ、活動の方向性を出さなくてはなりません。先がますます見えない今日この頃、チャレンジよりは身をちじこめ、じっと動かず、不況の風が行過ぎるのを待つところも多いことでしょう。ただ私たちのように、25年を超えてやり続けていると、栄枯盛衰とでも言える活動の移り変わりを、否応なく経験することとなります。

水もない、トイレもない、ないないづくしで、使われていない豚小屋の掃除や草刈から活動をスタートし、毎月第4日曜日に近藤整形外科の駐車場をお借りしてのリサイクルバザーが唯一の収入源だった創成期、今は亡き福本耳鼻咽喉科のお父さんのお蔭で、初めての常設店を開くことができた黎明期、解体予定の70坪2階建てプレハブを（徳島市新庁



太陽と緑の会リサイクル作業所 機関誌づくり

舎建設にあたり、福祉課と総務課が4年半、仮事務所として使っていたもの)市長さんの英断で頂けるようになり、作業所兼店舗とすることが出来た進展期、一年間ボランティアやアジアボランティアの受け入れ事業、ワークキャンプ事業を導入し、畑の開墾、自然循環型生活棟の建設などに取り組んだ発展期、19年間にわたって中心的活動拠点だった作業所兼店舗が全焼し、数多くの方々の支援で、現在の新館エコハウスが誕生した再生期、新たな活動の持続がようやく可能となった新生期……。大きく流れを見渡せば、こんな感じになります。次は何期に当たるのだろうと、ひとり勝手に考えながらも、愚直に、

相も変わらず「人も物も活かされる街づくり」とお題目を唱えながら、「厳しい時、困った時の太陽と緑の会」と言われるように、日々の活動に取り組んで行きたいと思えます。

地域活動支援センターである太陽と緑の会リサイクル作業所や、障害者地域共同作業所である太陽と緑の会月の宮作業所のメンバーたちを取り巻く状況にも、様々な変化があります。お父さんが亡くな

りお母さんと二人暮らしをされる方、お母さんが老人ホームに入所され、お父さんと二人暮らしをされる方、お父さんもお母さんも亡くなりご両親の位牌を抱えることになった方、おばあちゃんとりあえず暮らしたもののうまいかす、共同生活棟で暮らすこととなった方、兄ちゃんはあてにならんし、妹も弟もまだ小さいので、遊びたいけど自分が頑張らなくては、と歯を食いしばることとなった方・・・、よく見渡せば、本当に頭の下がるたいしたメンバーたちが、私たちの周りにいるわけです。それがここの指針だと、ふと感じられる昨今です。

F-4J後継機はF-15サイレントイーグルを導入した方がいいです
T-33は戦闘機パイロットの練習機です。退役してT-4として活躍しています。



イラスト 藤田さん

お知らせ

講演

11月28日、社会福祉法人ハートランド 街の中の喫茶店あっぴる（精神障害者の「暮らし」を支援する活動）（徳島市）にて、当会代表の杉浦が「40年近い福祉の流れを辿ってみて～私的追想論～」と題し、講演会を行いました。

あっぴるの新しいメンバーさんも多い中で、太陽と緑の会の活動の「現在」とその原点について、お話をさせて頂きました。当会作業所メンバーの米田君による詩の朗読も合わせて行いました。

見学

10月25日午前10時から11時、大久保谷川クリーンクラブ（阿波市）から15名の皆様が、太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗に見学に来られました。リユース・リサイクルシステム、及びCO₂削減エコハウスの現場をご案内致しました。エコハウスの細かい仕組みについて熱心に質問される方もおられ、専門的なところまで細かくお話しさせて頂きました。

10月29日、大阪障害者労働センターマツサクぐるーぷより8名の皆様が見学に来られました。メンバーを入れ替えて、今年3回目の来所となります。



職場体験
実習

つめ放題セールについて

屋外にて、雑貨、食器、衣類、ゴミ袋
1袋詰め放題 300円セールを、不定期
で行っています。

リサイクルショップさんからは「お値
段がつきません」と言われ、買い取り対
象からはずされてしまった品物の数々。
実はまだ十分使えるのに捨ててしまうの
はもったいない。

品物を提供して下さった皆様のそんな
思いをのせて、ひとつでも多くの品物が
もう一回使って頂ける事を願って、3年
前からこのセールを始めました。

太陽と緑の会は、頂いた品物の8割は
リユース・リサイクルにつなげておりま
すが、この比率をさらに高めるべく、日々
努力しております。

今後ともよろしくお願い致します。

冬期休業

12月29日～1月4日

年末の活動は12月28日（月）
まで、新年の活動は1月5日（火）
より、とさせていただきます。市民の皆
様方には大変ご迷惑をおかけ致し
ますが、よろしくお願い致します。

なお申し訳ございませんが、休み
期間中の品物などのお持ち込みは、
防犯上の問題もあり、お受けするこ
とができませんので、よろしくお願い
致します。



太陽と緑の会リサイクル作業所 衣料品作業

職場体験実習

10月22日、23日の2日間、午前9時から午後4時まで、入田中学校中学3年生8名が、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて、職場体験実習を行いました。

実習後、感想文を寄せて下さいましたので、ご紹介させて頂きました。

11月16日～19日、国府養護学校高等部2年生の森本さんが、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて、職場体験実習を行いました。初めはかなり緊張していましたが、少しずつ作業所の雰囲気にも慣れ、トラックに乗っての品物の回収や、資源ごみの積み込み、店内の商品整理などの作業に黙々と取り組んでくれました。

さて、先日の訪問の際にはお忙しいにもかかわらず、わざわざお手伝いをさせていただきありがとうございました。あの体験を通じていかに仕事というものが大変かわかりました。これを活かしてこれからの仕事に役立てたいと思っております。仕事のやりがいについても考えることができました。くれぐれもお体ご自愛ください。



僕は体験させていただくまで、NPOの法人か何をしてい
るのかわりませんでしたが、理念や活動内容に細く
かきました。体験を通していろいろなことを知っていい
経験になりました。

とても勉強になりました。値札をつける
のを初めてしました。値札をつけるのは難し
かったです。楽しかったです。勉強になりました。
多分、使った仕事や色々な荷物を運ぶ
仕事をさせていただきました。ありがとうございました。

二日間という短い期間でしたが、とても乗
しく、勉強になることばかりでした。これから
日々の学校生活や総合学習などで、みなさ
んに教えてもらったことを生かしていきたいです。

宿泊研修 2009 報告

平成21年12月7日(月)～8日(火)、財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等の利用者の社会参加を促進する事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。研修の参加者は様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計27名です。

今回の研修では、民間企業の生産工程及び商品についての見識を深めることを目的として、アサヒビール四国工場及び備前焼窯元(有)備州窯の見学を行いました。

12月7日、9時10分、貸切バス(41人乗り・金比羅タクシー)に乗って、太陽と緑の会リサイクル作業所を出発、11時30分、アサヒビール四国工場に到着しました。経費節約のため、昼食は手作りのおにぎりです。

3年半前、当会が火災に見舞われた際、復興資金にと10万円のご寄付をアサヒワンビールクラブ(社員の皆様による募金制度)様より頂きました。その時、当

会に来られた黒住様より工場見学のお誘いを頂き、いつか研修で行きたいと考えておりました。

12時より、ガイドの方の案内で見学を開始。ここでは四国四県に出荷するビールを製造しているそうです。



アサヒビール四国工場



当会作業所のメンバーさんは、原料の大麦、ホップを実際に手にとって触れたり、仕込工程の温度管理を行っているコンピューター室を興味深そうに眺めたり、屋外に並ぶ高さ 20 メートルの発酵・熟成タンクの大きさに驚いたり、それぞれ発見があったようでした。

特に、完成したビールを 350 ミリリットル缶に、1 分間に 1500 本のスピードで注入し（缶フィラー・充填機）、蓋をする（シーマー・缶蓋締め機）缶詰工程では、次々に缶が流れていく様子に歓声が上がりました。

100 数十項目にわたる厳しいチェックを行い、検査員による試飲検査を何段階も行うなど、品質の向上に向けて弛まぬ努力を続けていること、生産工程の自動化によって工場の無人化が進んでいることが分かり、実り多い工場見学となりました。



備前焼窯元・備州窯

12 月 8 日、9 時 50 分、貸切バスに乗って宿泊先の岡山いこいの村を出発、10 時 45 分、備前焼窯元（有）備州窯に到着しました。昼食は今年もほかほか弁当、飲み物は市民の皆様から頂いたケース入りの缶ジュースを持参しました。

備州窯では登り窯の前で説明をして頂きました。うわぐすり（釉薬）を使わずじっくりと焼き締めを行っていることが備前焼の特徴であり、「田の底から掘り出した粘土が備前焼の材料として使えるようになるまでに 5 年くらいかかる」「花を活けると長持ちし、お茶も美味しくなる」など、興味深いお話がありました。

職人さんが電動ろくろを使って湯呑を成形している姿を一生懸命見ているメンバーさんもいました。

「この世界では 20 年（のキャリア）ではまだまだひよっこです」と職人さんが語る備前焼の世界にも、不況の波は押し寄せているとのことでした。

今回の研修旅行では、モノづくりの現場を間近で見ることができ、そこに携わっている方のお話を伺うこともできました。作業所のメンバーさんにとっても、今後の作業を行っていく上で収穫が多く、限られた予算の中で費用対効果の高い研修になったと思います。



当会の活動をご支援下さった皆様

§2009年10月1日～11月30日§(紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

米田、森本、原田、匿名、渡辺、匿名、谷、藤岡

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた方々

○徳島市○三木、増田、大北、吉田、下塚、吉田、谷川、竹丸ホームケア便利堂、志津、天羽、高木、堀内、鈴江、四宮、衣笠、島本、大櫛、宮本、住吉、岡本、坂東塗装、すみれ会福島作業所、坂東、花谷、平戸、相原、八村、西村、長野、杉山、松村、鈴木、川崎、柿原、藤井、平中、湯浅、内田、黒島、南海足袋、福永、佐藤、ファミリーマート仲之町店、加地、近藤、西村、大西、西田、第一生命、ホテルサンルート、松岡、おいでおいで、本木、木村、蔭山、ムツ技研、大上、武知、佐々、榊、スナックみちよ、青木、森、原田、猪山、山田、小林、秋山、宮崎、井口、多田、早川、藤永、ユニオン測量、住友、穴吹コミュニティ、有持、田中、増富、以西、松原、前田、掛尾、笹尾、金野、江原、真鍋、小西、横山、阿部、永松、こうろ、生島、吉田クリーニング、杉野、曾山、平尾、松浦、中川、森本、酒井、大和、福田、西條産婦人科、木内、安藤、布川、幸田、晃安、長畠、橋本、花岡、秋田、村田、桜井、新居、櫻浦、河村、北、村澤、朝日、牧、徳岡、市川、清久、金山、村瀬、久長、数藤、あおばの杜、佐川、片岡、中井医院、谷口、本多、小倉、富本、中井、町田、村山、流、牧平、小川、高原、夷谷、稲木、第一生命眉山支部、横田、角田、雲財、河野、津川、木本、田口、沖野、願成寺、徳島カトリック教会、戸田、小山、南部、坂本、藤本、齊藤、西本、関東、辻、今井、八万コミュニティセンター、楠本、野田、久穴、美馬、しおつ、西原、久米井、為実、平野、岡山、佐古小学校、ピンク美容院、名倉、樋上、伊月、漆原、古田、(株)大楠、下窪、吉成、矢部、下岡○鳴門市○戸川、辻、岡本、中尾、ごうじん社、山西、米田、ゆき美容院、久龍、寺田、田淵○石井町○阿部、出口、南、仲、吉田、小川、高原、姫野、カンガルー歯科、先田、清水、佐藤、岩佐、大森、石本、山中○北島町○戸川、結城、西岡、林、中野○小松島市○内藤、吉崎、金磯病院、花谷○藍住町○阿部、豊田、めさき、佐藤○板野町○石井○吉野川市○住友、中村○阿南市○長浜○阿波市○小川、大塚○上板町○原田

品物を持って来て下さった方々(郵送含む)

○徳島市○佐藤、市原、高橋、朝風、山本、津田、嶋田、奈良、香川、岩佐、永正、角宮、坂東、中村、藤本、島海、島田、杉原、ぱんどう美容院、川田、森、山田、斎田、溝口、団、岩崎、植田、藤田、松浦、村上、佐中、津田、楠、津川、井内、沢、岩井、柿原、坂東、川田、豊田、鎌田、山西、美馬、中川、武中、坂部、井山、本田、大西、岡本、黒川、川端、中島、東條、平岡、片岡、岩森、福島、大栗、安田、和田、小山、出口、細井、岡島、笹山、数藤、林、窪川、吉岡、米里、坂井、郡、岸本、大野、糸田川、北村、仁木、生駒、松本、高丸、加島、三浦、弓田、西沢、桑原、小川、尾崎、森岡、山中、黒田、西野、樋口、角、堀金、石井、松田、鶴田、宮内、中平、森出、三間、杉本、榊、三並、内田、半田、楠野、鶴岡、阿地、嶽尾、南本、元木、片平、矢川、後藤、長浜、多田、正本、荒木、小泉、幸田、吉野、姫野、野本、工内、岡田、大島、藤井、栄山、鹿児島、平若、吉見屋タイヤ、梶原、栗尾、小林、田村、志摩、明丸、森、田所、湯本、森下、鹿山、宮西、川人、中山、笹田、赤木、松永、山橋、山下、井筒、曾川、森本、賀川、細川、高木、木村、小尻、三木、吉田、乙武、鴻野、久米、折坂、金沢、福田、杉浦、松平、大家、小賀、田中、三好、坂野、原、愛桐家具、渡辺、野崎、藤原、井上、中野、原田、蔵本、若井、高濱、木内、石川、泉谷、熊川、富田、芝井、榎尾、濱口、猪子、住友、秋山、阿部、田野、大黒、山松、加藤、門田、生活訓練施設 ひまわり、橋本、尾本、

こんにちは、突然荷物を送ってしまいすみません。学生時代に、そちらにボランティアで参りました。坂野友美と申します。

家の中を整理していて、リサイクルしたり物か、あつたのでまとめてみました。

もし、よければ、保って頂けますでしょうか。

後、ほんの少しなのですが、お菓子も同封しましたので、管さんで休憩の時にでも食べて下さい。

これから、寒い日が続きそうですので、お体に気を付けて下さい。

坂野友美



船井、吉本、宮城、朝川、植松、近住、浅川、小村、梅岡、高松、野々瀬、有持、瀧口、横井、別所、山口、森田、芦田、谷、須見、山内、妹尾、溝淵、宮崎、畠山、河村、宮島、河野、吉村、柳澤、四国大学チャリティークラブ、米本、武田、中西、花井、わかくさ幼稚園、梅本、大田、稲井、岩根、倉橋、生田、川田、久保、尾方、大隈、戸田、岡本、堀井、北井、富永、Nurui、大下、木田、谷井、斉藤、西岡、山本、近藤、西森、嵐、関口、弘田、楠本、町田、寺西、下野、田内、大林、藤黒、大津、青野、真藤、高倉、二宮、張、中石、村主、神田、若松、秋田、山花、団、小澤、勝間、石原、西尾、立石、久米川、安藤、米倉、竹尾、明井、三木田、水口、高源、松谷、清水、輝尾、毛利、日河、尾池、北野、春藤、黒坂、浅見、玉木、的場、井若、賀好、奥野、力安、武市、白木、佐野、柴山、安井、長谷部、山城、青井、谷本、滝下、藤野、森口、内藤、矢藤、生光学園高等学校、高尾、国府養護学校○北島町○岩木、河田、橋田、大西、遠藤、高口、谷山、和喜、多田、池形、西本、米田、安崎、影山○阿波市○安田、高島、松浦、森本、野口、松尾、八坂、大崎、割石○阿南市○天羽、森下、小野、藤坂、仁木、井浦、西岡、佐野、石川、武市、稲原、森○吉野川市○河野、稲井、池淵、祖父江、片岡、阿部、大塚、工藤、森本、大久保、国本、上野、鈴木、鎌田、福原、川野、高口、松田、梶山、吉田、中山、模納、露口、金子、市原、山口、加本○板野町○垣内、平野、五條、森本、住友、上田、田村、山口、大嶽、橋本、沖津○鳴門市○斉藤、高野、丸泉、田村、天満、芝、永峰、三木野、大橋、大江、亀井、中筋、NPO法人ふくろうの森、綾野、大下、高杉、中筋、柏木、後藤、高麗○松茂町○大西○藍住町○藤田、入山、古市、小笠原、榎原、庄野、岡久、岡田、阿部、倉橋、鹿児島、白勢、林、氏家、西野、東條、奥村、中尾、和田、二宮、近藤、佐藤、芥川、別所、象湯、小笠原、大高、落合、武内、曾川、白勢、奥谷、小林、西川、谷、黒木○石井町○堀江、久米、横井、藤田、大島、遠藤、川田、山本、菅沼、武知、矢野、高崎、中川、中野、仁木、宮北、井内、三河、大石、片岡、菅沼、小川、河野、宮崎、加藤、浅井、河崎、黒田、岩佐、犬伏、佐々木、長尾、竹内、鍛川、川崎、小山、以西、鎌田、木村○小松島市○数藤、湯浅、上原、平尾、ていば、渡辺、矢田、上田、高田、荒川、山本、坂本、岩本、中川○海陽町○神沢、野村○美馬市○高木、藤見、大西、平尾、長江、小松、清水○神山町○森本、一宮○上板町○快樂、村田、飯田、近藤、森○佐那河内村○嵯峨○香川県○栗飯原、吉村○東京都○本田○愛知県○松浦○兵庫県○服部○神奈川県○坂野

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の自立支援、ボランティア育成、他団体への支援などの活動につなげています。

リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

吉田様、多田様、川人様を初め、いつも旬の農作物を無償で提供して下さる皆様にも、この場を借りてお礼申し上げます。

吉田様の弟様から豚汁の差し入れを頂きました。メンバー、スタッフ、ボランティアでおいしく頂きました。ありがとうございました。



多田様より頂いたみかんは、メンバー、ボランティア、スタッフでおいしく頂きました。また当会が日頃お世話になっている方にもお渡しさせて頂きました。



川人様より頂いたほうれん草は、当会をいつも利用して下さる市民の皆様にも、少しずつですが、お渡ししました。大変喜んで頂けました。

編集後記～頑張らないということ～

作業所の鉄骨スレート葺き 60 坪 2 階建ての倉庫（賃借）の 2 階に 10 畳ほどの小さな作業部屋を作りました。壁で囲い、天井もつけ、エアコンも入れました。

ある程度状態が落ち着いて、精神病院を退院することができ、デイケアを利用してきたが、できれば働きたいと思っている。一般就労できればよいがハローワークへ行っても面接までこぎつけるのが関の山、それも入院歴や服薬していることを隠しての面接、他に行く場所もなく、どうしたらよいか分からない。

家で何もせずにテレビばかり見ていると、家族からの視線も厳しくなり、お互い煮詰まってくる。いい年した大人が仕事も探しに行かんと何をやっているのか、と近所でも噂される。そのような方が、地域社会には少なくありません。

地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所では、退院後の行き場所のないメンバーさんのために、倉庫 2 階の一角に内職的な作業のスペースを設けていました。

しかし天井がなくエアコンもないため、夏は天然のサウナ、冬は吐く息が真っ白の寒さ、通うだけで精一杯のメンバーさんには厳しいものがありました。

「細く長く続ける」「なるべく再入院しない」ために必要なことは、「頑張らない」ということです。頑張りすぎた結果、病状が悪化し、再入院ということになると、退院した時はゼロからのスタートではなく、マイナスからのスタートです。歩みはカメのようにゆっくりであってもポチポチと続けることが、生き直していく力につながると思います。（小山）

今年是不況により行き場のない人が増えており、様々なハンディを持ったメンバーさんからの通所希望が多く、14 名が見学に来られ、9 名が通所を開始しました。うち 7 名の方が現在も通所を継続しています。

太陽と緑の会が CO₂ 削減などのため、事務局建物に太陽光発電を設置して、12 年近くが過ぎました。経済的には割に合わず「お金が余っているのだろう」などと言われたりしたのですが、今や採算にも合うエコ投資に変わりつつあります。

時代の半歩先を歩いていくことが NPO の役割ではないかと考えています。至らない点もございますが、市民の皆様のお知恵とお力を拝借し、施策からこぼれ落ちたニーズを大切にしていきたいと思えます。

本誌をもちまして新年のご挨拶とさせていただきます。新年もよろしくご挨拶致します。

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・障害者地域共同作業所とリンクさせて、行っています。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていただけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間 300 日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
TEL・FAX 088-642-1054
（リユース・リサイクル、地域活動支援センター）
URL <http://www.t-midori.org/>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp
代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
編集サポート 岡田 郁子
年会費：正会員 1 万円 準会員 1,000 円
郵便振替口座：01620-8-44703